

令和4年度とちぎ6次産業化実践セミナー
第4回講座実施状況について

【日 程】 令和4(2022)年11月16日(水)、午後
【会 場】 とちぎアグリプラザ
【参加者】 15名
【テーマ】 SNSやクラウドファンディングの有効活用
【講 師】 農山漁村発イノベーション中央プランナー
株式会社JEM 代表取締役副社長 浅沼ゆうか 氏

【講義概要】

＜クラウドファンディングの有効活用＞

クラウドファンディングを活用すると資金調達の幅が広がられる。

起案者側のメリットは、不特定多数から資金調達が可能、返済義務がなく、実績や信用力は必要ない、テストマーケティングでの活用、ファンが作れることである。

デメリットは、実施の責任を伴う、アイデアが盗まれる可能性がある、資金調達に成功する保証はないことである。



＜インスタグラムの有効活用＞

Instagramは、画像や動画など柔軟な配信が可能で、関心を持っている層にアプローチが可能、リアルタイム性が高いため、即効性のある広告が出せる。

フォロワーが関心を持つような発信をすること、投稿間隔は3日以上(理想は毎日投稿)あけない、ページでの滞在時間を長くすることが重要。

また、ハッシュタグの数は10個程度とし、自分に合ったハッシュタグを付けると良い。



＜6次産業化商品作りのアドバイス＞

売れるものを作りたい場合、BtoC向けか、BtoB向けかにより商品づくりが異なる。

一方、商品を新しく作らなくてもできることもある。例えば、既存商品の規格修正だけで売れる商品になることもある、既にある製品の見直しから行うことも必要である。

どんな商品を作りたいか。どんな人に食べてもらいたいと思うか。その思いは、買う側と本当にイコールか考えてほしい。

チャンスは沢山ある、そのチャンスを掴めるかどうかは自分次第である。

